

Senior Backend Engineer

※ 黄色 = 必須項目 | 青色 = 推奨項目 | 緑色 = 任意

このポジションについて (About the Role)

現在、私たちのプラットフォームは「3つの課題」を抱えています。

日本・東南アジアで500社以上のエンタープライズ企業が利用する当社のB2B SaaSは、バックエンドで1日5,000万件以上のAPIリクエストを処理しています。しかしシステムが成長する中で、主要エンドポイントの応答速度は800msで高止まりし、認証サービスは5,000 RPSを超えるとボトルネックになり始め、マルチリージョンのフェイルオーバー構想はいまだNotionのドキュメントの中にしかありません。

シニアバックエンドエンジニアとして、この3つのうち少なくとも1つの課題解決をリードしていただきます。

このポジションは単に「決められた仕様を実装するだけ」ではありません。アーキテクチャの意思決定から、ロールアウト戦略、デプロイ後のモニタリングまで、エンドツーエンドでお任せします。現在チームでは週3〜4回の本番デプロイを行っており、エンジニア個人の裁量が非常に大きい環境です。

毎日、何千社もの企業が私たちのインフラ上でビジネスを動かしています。複雑なシステム課題に向き合い、大規模にスケールする環境で技術的な挑戦を続けたい方にとって、非常にやりがいのあるポジションです。

チームについて (About the Team)

バックエンドチームは現在5名（日本人3名、外国籍2名）で構成されています。実務では、PM2名、フロントエンドエンジニア4名と密に連携しながら開発を進めます。

- 働き方（非同期コミュニケーション重視）日次のスタンドアップはSlackで、コードレビューはGitHub上で非同期に行います。また、毎週木曜日にはアーキテクチャレビューを実施しています。
- 使用言語 コード、設計ドキュメント、エンジニア間のレビューは原則「英語」です。PMとのやり取りや全社ミーティングは「日本語」を使用します。
- カルチャー（大きな裁量とオープンな議論）エンジニア一人ひとりが自身の裁量で開発を進められる環境です。そのため、単にタスクを消化するのではなく、より良い設計やアプローチを自ら考え、提案していくことが求められます。もし別の方向性が正しいと思えば、遠慮なく議論を提起してください。チーム全体で率直に意見をぶつけ合うカルチャーが根付いています。

業務内容(Responsibilities)

※ 5～6項目以内に絞ってください。

- 1日5,000万件以上のAPIリクエストを処理するバックエンドサービスの設計・実装・改善（レイテンシ・信頼性・コストを意識して）
- API設計・データモデリング・パフォーマンス改善などアーキテクチャ全体の意思決定をリード
- 主要エンドポイントの応答速度（P99）を800msからサブ100msに改善する
- 認証モリスをダウンタイムなしでイベント駆動マイクロサービスへ移行する
- PMと仕様の段階から参加し、技術的な制約を早期にすり合わせながら、機能をエンドツーエンドでリリースまで担う
- パフォーマンス・信頼性・障害モードの観点から、コードレビューと設計レビューを通じて、チームのバックエンド品質基準を引き上げる。

必須スキル(Requirements)

※ 本当に必要なスキルのみ記載。6項目以内が目安。

- プロダクション環境でのバックエンド開発経験4年以上
- Go・Kotlinのいずれかに習熟していること（同等の静的型付け言語での経験があれば可）
- PostgreSQLの実務経験（スキーマ設計・クエリ最適化・インデックス設計）
- 複数のクライアントやチームが利用するREST APIをエンドツーエンドで担当した実績
- 技術的なトレードオフを判断し、文章で説明できる能力
- 分散システムにおけるレイテンシ・信頼性の問題をデバッグした経験

技術スタック(Tech Stack)

エンジニアは技術スタックで求人フィルタリングすることが多いため、記載すると検索されやすくなります。

- 言語： Go（メイン）、Kotlin
- データベース： PostgreSQL、Redis
- インフラ： AWS（ECS・RDS・ElastiCache・CloudFront）、Terraform
- オブザーバビリティ： Datadog、PagerDuty、OpenTelemetry
- ツール： GitHub、Linear、Notion、Slack

歓迎スキル(Nice to Have)

※ 必須スキルとの区別を明確に。

- イベント駆動アーキテクチャ（Kafka、SQSなど）の設計・運用経験
- マルチリージョン・マルチテナントのSaaSインフラ構築の経験

- ジュニアエンジニアのメンタリング経験

日本語要件 (Japanese Language Requirements)

※「ビジネスレベル必須」とだけ書くと、優秀な候補者が不必要に自己選択で離脱します。「何に使うか」「使わなくていい場面はどこか」を具体的に書くことで、応募数が増えます。

- ビジネスレベルの日本語が必要 (JLPT N2 / CEFR B2 相当以上)
- 使用場面: 日本語話者のPMとの日常的なSlackやりとり、週次全社ミーティング、PRDのレビュー (書面)
- 不要な場面: コードレビュー・設計ドキュメント・外国籍メンバーとの1on1
- 完璧な文法よりも、意図を明確に伝える「コミュニケーション力」を重視

給与情報 (Compensation)

※ 給与を公開できない場合 給与レンジの開示で応募数が約15%増加 (Japan Dev調べ)。公開できない場合: ① 下限のみ (例: 800万円以上) ② 「技術テスト前に必ずお伝えします」と明記

- 基本給: 年収800万円～1,200万円
- 賞与: 年2回 (会社業績・個人評価に基づく)
- スtockオプション: 全正社員に付与
- 給与改定: 年1回 (業績評価に基づく)

選考プロセス (Hiring Process)

※ 全ステップに加え、目安時間があると尚良いです。

- 書類選考 (3～5営業日)
- カジュアル面談 (リクルーター / オンライン・30分)
 - ★ 技術課題に進む前に、具体的な給与レンジやストックオプション (株式) の情報をお伝えします。
- 一次面接 (EM + シニアエンジニア / オンライン・60分)
- 技術課題 (持ち帰り形式・任意のタイミングで実施 / 目安: 2～3時間)
- 技術レビュー面接 (提出いただいた課題をベースにしたコードレビューとディスカッション / オンライン・60分)
- 最終面接 (CTO + 人事 / オンラインまたは東京オフィスでの対面・45分)
- 内定

目安の期間: カジュアル面談から内定まで通常3～4週間。すべての面接はオンラインで受験可能です。

勤務環境 (Work Environment)

- ハイブリッド勤務: 週2日出社 (必須) + リモートワーク (週3日)
- オフィス: 東京・渋谷 (渋谷駅B3出口から徒歩3分)
- フレックスタイム: コアタイム 11:00～16:00 JST。

- コアタイム以外は、個人の裁量・ペースで柔軟に業務を進められます。
- 海外からのリモート: 年間最大4週間可
 - 日本時間(JST)のコアタイムには稼働できることが前提となります。

キャリアパス(Career Path)

※ 海外のグローバル企業はこのセクションを設けないことも多いです。しかし、日本企業のキャリアパスは外国籍エンジニアにはイメージしにくいもの。一言書くだけで応募の後押しになります。

【入社後のキャリアパス(例)】

- 入社1～2年目: シニアバックエンドエンジニア
主要システムの開発を担当し、アーキテクチャの意思決定をリードしていただきます。
- 3年目以降: スタッフエンジニア または エンジニアリングリード
ご自身の志向に合わせて、今後のキャリアを選択可能です。

★マネジメントを強制することはありません

私たちは、技術を極める「スペシャリスト」の道と、組織を牽引する「マネジメント」の道を用意しています。どちらのキャリアを選んでも、同等に評価・処遇される制度が整っています。

ポジション固有の待遇(Role-specific Benefits)

※ 情報が多いと読みづらくなるため、社保・通勤手当などの全社共通の福利厚生は企業プロフィールへの記載がおすすめです。

- 学習支援: 年間12万円(書籍・オンライン講座・資格取得)。1万円未満は申請不要。
- カンファレンス: 主要エンジニアリングカンファレンス年1回、全額会社負担(KubeCon、GopherConなど)
- 開発機器: MacBook Pro 16インチ支給 または 40万円の機材購入予算(選択制)

社保・交通費などの全社共通の待遇はJapan Dev企業プロフィールをご覧ください。

リロケーションサポート(Relocation Support)

※ 日本のビザ手続きは複雑です。具体的な支援内容を書くことで、海外候補者の不安と手続きへの心理的ハードルを下げられます。

- ビザサポート: 就労ビザ(技術・人文知識・国際業務)の申請・更新を全面サポート
- 引越し支援: 海外からの応募者に対して20万円の一時金を支給
- 住居探し: 英語対応可能な不動産業者のリストを提供。物件候補も事前にご案内
- 空港出迎え: ご希望に応じて手配可能